



“地域のことは地域で考えよう”

2013年10月29日

おきぎん県内景況・速報 2013年9月

—県内景況は、拡大の動きが強まる—
2013年5月以降、5ヵ月ぶりに上方修正

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高も前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回る。
観光施設入場者数は前年同月を上回る。

■企業倒産

件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2013年9月分)

◎2013年9月 おきぎん「カトリア」景況図



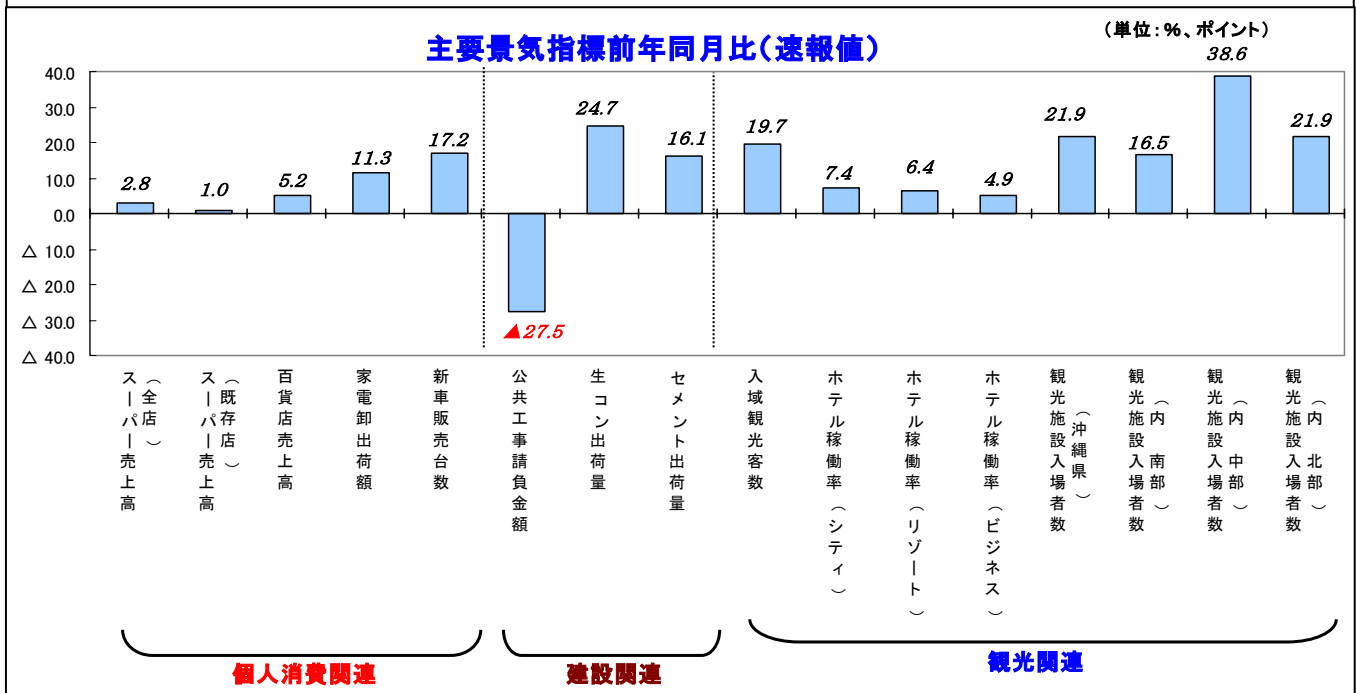
◎概況：県内景況は、拡大の動きが強まる。

9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や身の回り品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数もレンタカー需要や新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は沖縄県や市町村発注による大型工事の反動等から前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は12ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、今回「県内景況は拡大の動きが強まる」と景気判断を上方修正しました。
(2013年5月以降、5ヵ月ぶり)





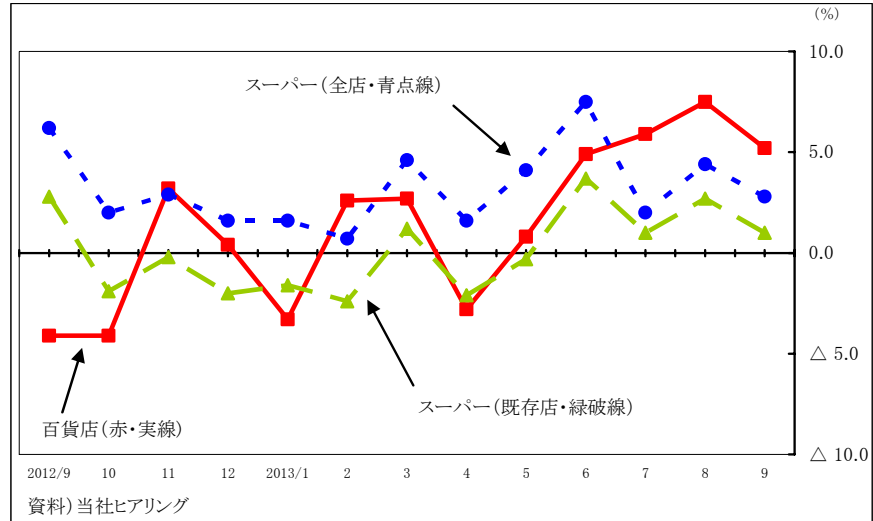
■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回る。百貨店売上高も前年同月上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2012/9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2

注) 前年同月比



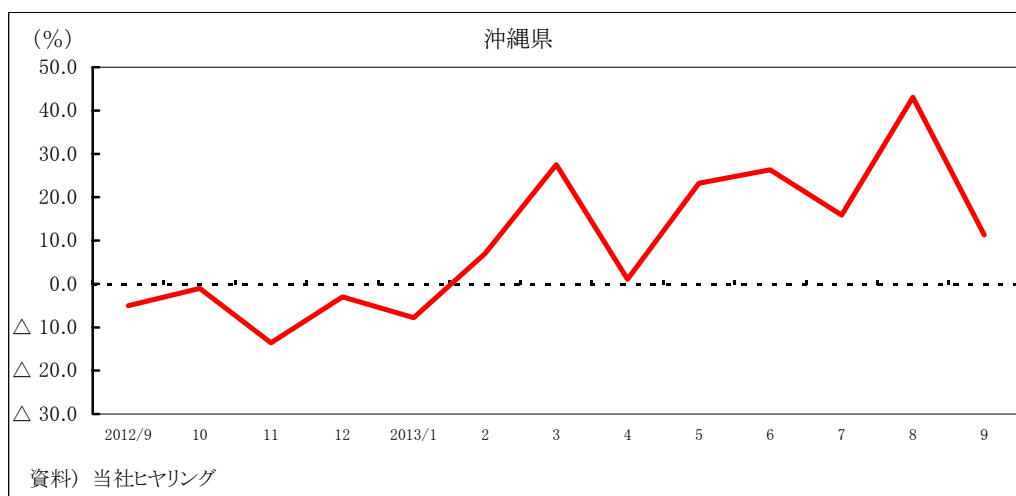
9月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月 2.8%増)」が14ヵ月連続で前年同月上回りました。新規店舗の出店効果に加え、昨年よりも台風襲来の影響が今年は少なかったことなどから、ウェイトの高い「食料品(同 2.5%増)」、「衣料品(同 4.8%増)」、「家庭用品(同 3.5%増)」が前年同月上回りました。

「既存店ベース(同 1.0%増)」では4ヵ月連続で前年同月上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 0.1%増)」は、旧盆最終日の需要が8月にシフト(昨年:8/30-9/1、今年:8/19-8/21)したものの、昨年に比べ台風襲来の影響(臨時休業、営業時間短縮、来店客数減少等)が今年は少なかったことなどから、総じてみると前年同月をわずかに上回りました。「衣料品(同 4.1%増)」は、昨年よりも台風の影響が少なかったことから、秋物衣料の売れ行きが好調で前年同月上回りました。家電を含む「家庭用品(同 3.6%増)」も、エアコンや冷蔵庫、洗濯機などの白物家電の売上げが好調で前年同月上回りました。

百貨店売上高は、衣料品や身の回り品などの売れ行きが好調で、5ヵ月連続で前年同月上回りました(同 5.2%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 11.4%増)」は、昨年に比べ台風襲来の影響(臨時休業、営業時間短縮、来店客数減少等)が今年は少なかったことなどから「婦人服(同 7.0%増)」や「紳士服(同 15.4%増)」、「子供服(同 14.4%増)」の売上が好調に推移し、前年同月上回りました。「身の回り品(同 38.8%増)」や「雑貨(同 6.4%増)」も販促効果(広告強化、新規催事)などにより前年同月上回りました。一方、「食料品(同 14.9%減)」は、昨年9月に開催した食料品催事を今年は8月、10月に移動したことなどから前年同月を下回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。

単位:%	
沖縄県	
2012/9	△ 5.0
10	△ 1.0
11	△ 13.6
12	△ 3.0
2013/1	△ 7.8
2	7.0
3	27.5
4	1.1
5	23.2
6	26.3
7	15.9
8	43.0
9	11.3

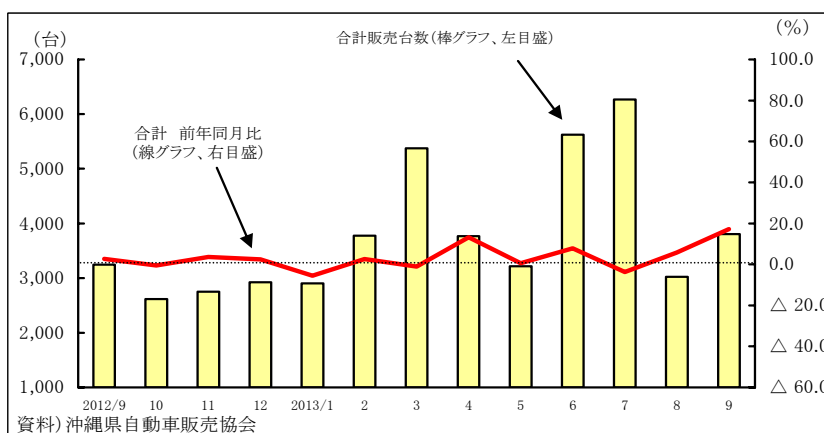


注)前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネル需要などにより、8 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 11.3%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 19.9%増)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同 1.5%増)」は、晴天日が多く気温が高かったことなどから需要が堅調に推移し、前年同月を上回りました。「冷蔵庫(8.1%増)」や「洗濯機(同 26.0%増)」も前年同月を上回りました。また、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降、需要低迷が続いていた「テレビ(同 2.7%増)」や「DVDレコーダー(同 21.8%増)」も2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要や新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要などにより前年同月を上回る。

単位:台、%					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/9	3,248	2.7	△ 12.2	△ 12.8	13.9
10	2,613	△ 0.5	△ 27.5	△ 10.6	11.0
11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

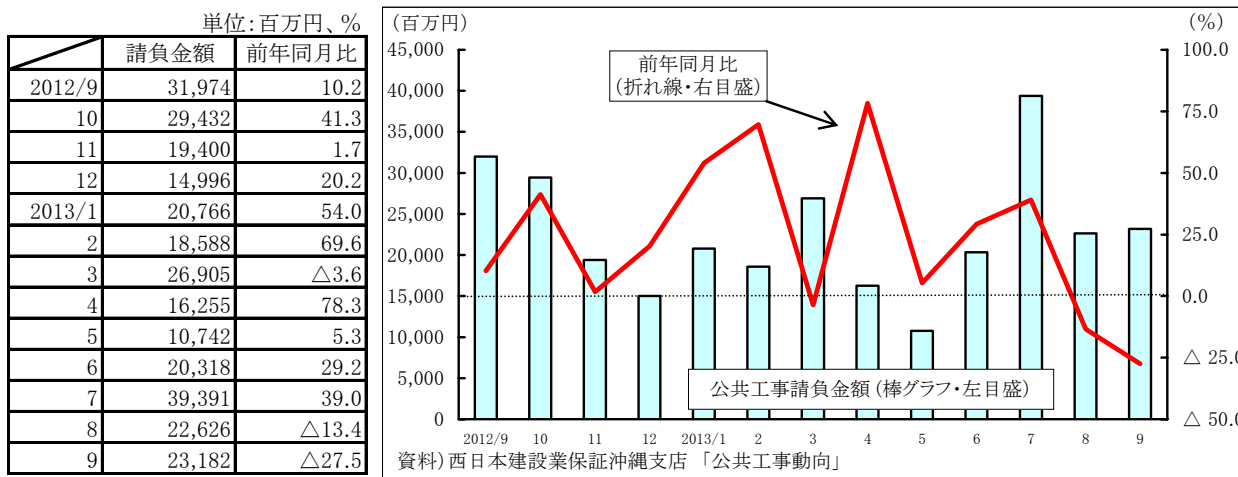
新車販売台数は、全体で 3,808 台となり、2 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 17.2%増)。車種別でみると、「普通乗用車(同 4.2%増)」が 3 ヶ月ぶりに前年同月を上回ったほか、「小型乗用車(同 24.1%増)」もレンタカー需要などにより2ヵ月連続で前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同 14.6%増)」も新商品(新車種、モデルチェンジ等)の需要が堅調に推移したことなどから2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



■ 建設関連: (良い)

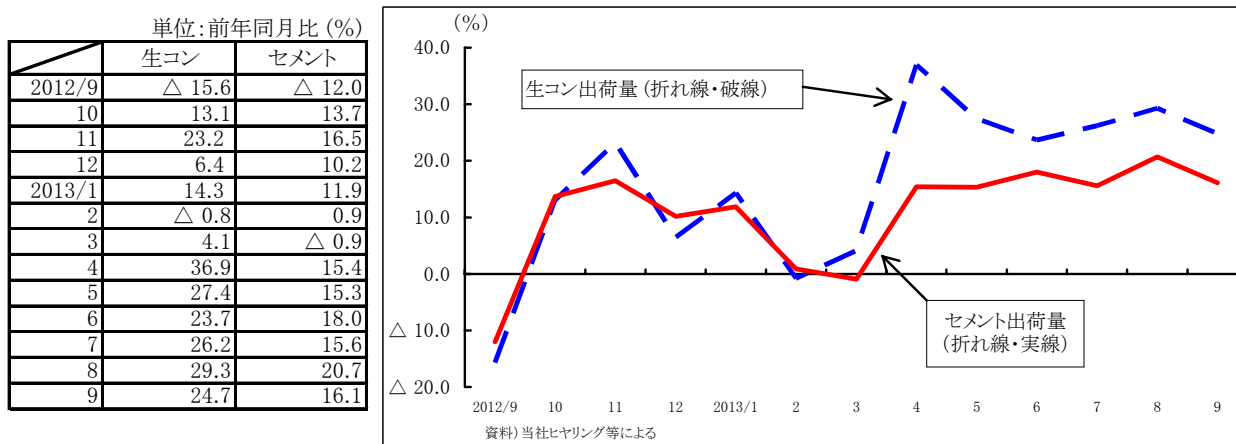
①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。



9月の公共工事請負金額は、前年同月比27.5%減の231億8,200万円となりました(2ヵ月連続減)。

発注者別でみると、「独立行政法人等(同744.0%増)」が前年同月を上回ったものの、「国(同20.0%減)」は昨年の豊見城トンネル関連工事の反動、「沖縄県(同33.8%減)」は浄水場関連工事などの反動、「市町村(同23.9%減)」は金武町での地域医療施設関連工事の反動、「その他の公共的団体(同47.7%減)」は那覇空港国内旅客ターミナルビル増築工事の反動などにより前年同月を下回りました。

②建設資材…生コン、セメントともに前年同月を上回る。



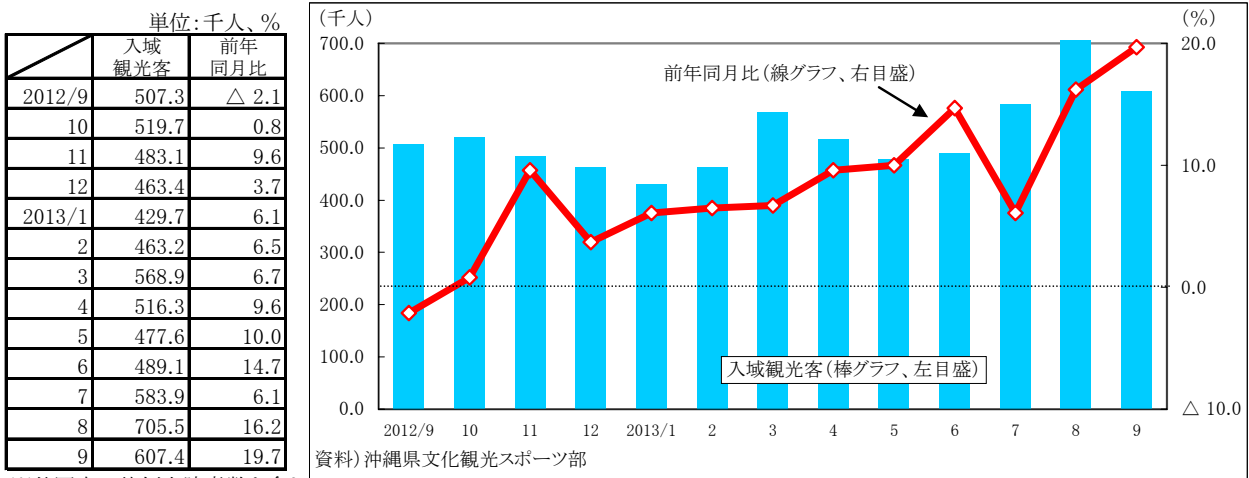
(注) セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は24.7%増加し、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より29.1%増加し、民間工事向け出荷も23.2%増加しました。セメントの出荷量は16.1%増と6ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…12ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は特例上陸者数を含む

9月の入域観光客数は、前年同月より19.7%(100,100人増)多い607,400人となり、12ヵ月連続で前年同月を上回りました(7ヵ月連続で各月の過去最高を更新)。

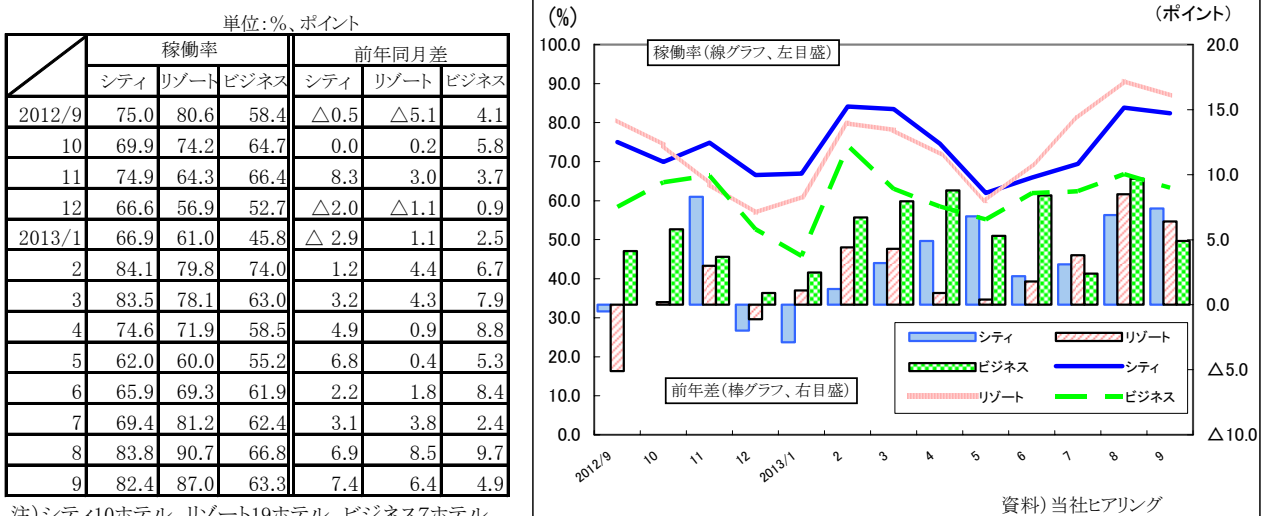
内訳をみると、「国内客(同 15.0%増)」は台風の影響を受けた前年の反動に加え、新石垣空港の開港効果などから12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同 88.3%増)」は、61,200人(28,700人増)となりました。昨年9月に起こった尖閣問題以降減少が続いていた「中国本土(同 35.7%増)」が13ヵ月ぶりに前年同月を上回ったほか、航空路線の拡充などから「台湾(同 106.5%増)」「韓国(約 173.7%増)」なども引続き好調に推移しました。

※ 2013年4月より外国客は特例上陸者を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

※ 特例上陸者を除く2013年9月実績=全体597,200人(同 19.0%増)、外国客51,000人(同 88.9%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスすべてにおいて前年同月を上回る。



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

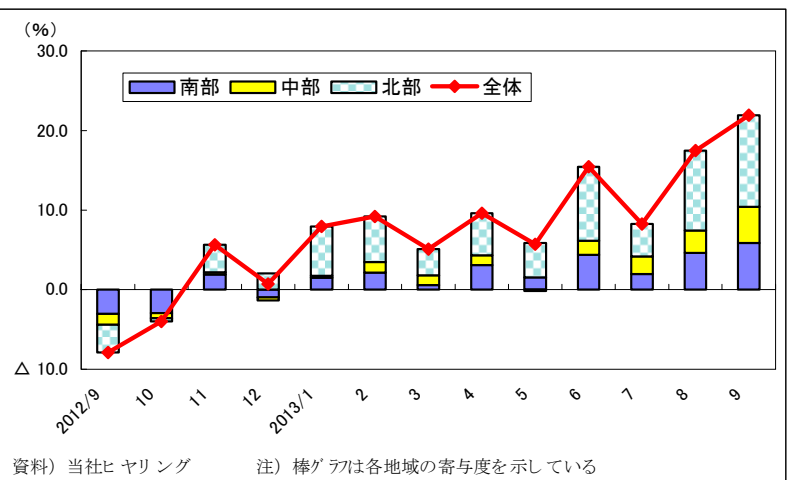
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが82.4%と7.4ポイント上昇(8ヵ月連続)、リゾートホテルが87.0%と6.4ポイント上昇(9ヵ月連続)、ビジネスホテルが63.3%と4.9ポイント上昇(19ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…11ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	21.9	16.5	38.6	21.9



*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より21.9%増加(11ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同16.5%増と9ヵ月連続、中部は同38.6%増と4ヵ月連続、北部は同21.9%増と11ヵ月連続で前年同月を上回りました。

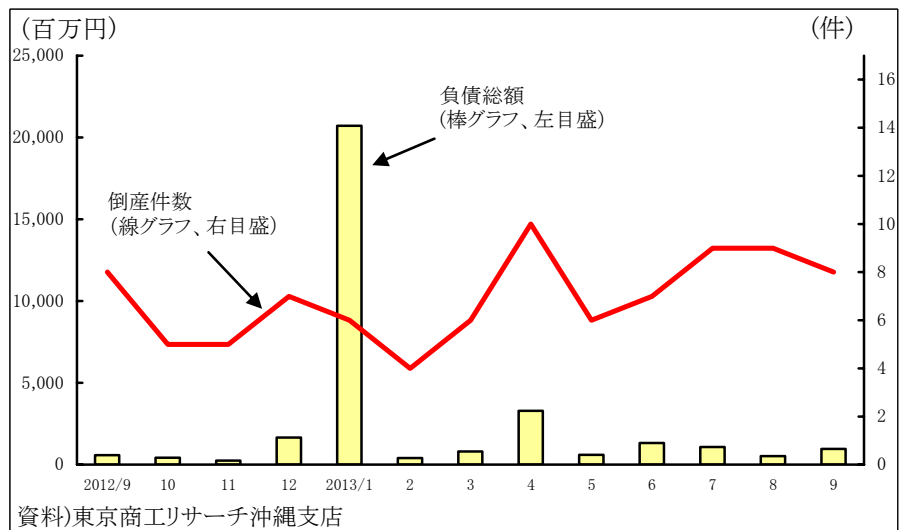


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2012/9	578	8
10	428	5
11	244	5
12	1,648	7
2013/1	20,703	6
2	406	4
3	813	6
4	3,295	10
5	603	6
6	1,320	7
7	1,083	9
8	519	9
9	971	8



9月の企業倒産件数は、8件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産4件)発生し前年同月と同数となりました。負債総額は9億7,100万円と前年同月より68.0%増加しました。